

つばめ会会報

“Slope”

第22号



目次

| | | |
|-------------------|------------|----|
| 幹事長の言葉 | 岡部健志(21期) | 2 |
| 会長の言葉 | 浅野昭(12期) | 3 |
| 部長の言葉 | 近藤友洋(28期) | 4 |
| コーチの言葉 | 松井弘毅(26期) | 5 |
| OLT杯感想文 | 村上巧(27期) | 6 |
| つばめ杯への軌跡 | 村上諒一(25期) | 7 |
| OLT杯運営報告 | 羽賀岳尋(26期) | 8 |
| 近況報告 | 川井宏一(23期) | 9 |
| 近況と大会の宣伝を少し | 永瀬真一(10期) | 10 |
| 近況 | 平松宗太郎(14期) | 11 |
| 2007年度つばめ会活動報告 | | 12 |
| 2007年度つばめ会会計報告 | 田中淳一(23期) | 13 |
| ML・ホームページ・掲示板について | | 14 |
| | | |
| 編集後記 | | 15 |

写真：全日本トレイル0選手権 2007 準優勝の田中選手(23期)

写真提供：岡部健志氏(21期)

幹事長の言葉

21 期 岡部健志

今年もめっきり寒くなってきました。10月6日に秩父で開催された OLT 杯もあいにくの雨でずぶぬれになってしまいましたが、近くの温泉に寄って暖まってから帰りました。最近は気が付けばオリエンと温泉のセットが多くなっています。

個人的な話ですが今年の夏初めて甲子園を観戦しました。それも阪神戦ではなく高校野球です。以前から甲子園にはいつか行こうと思っていたのですが、阪神戦はいつも混んでいるイメージがあり行ったことがありませんでした。それが今回は高校野球が実家への帰省とタイミングが合ったこともあり、広島からの帰りに甲子園に行くことになりました。

8月の真っ盛りで甲子園は非常に暑く、このなかで試合を何時間も行う高校球児はすごいと改めて感じました。ちょうど今住んでいる広島の広陵戦を観戦できたこともあり、非常に楽しめました。

また、甲子園以外にも秋以降に島根の出雲大社を観光したり香川にうどんを食べに行ったりしました。最近急に色々な所に旅行に行きたくなるのですが、なぜかと考えたところ今まではオリエンターリングが旅行代わりになっていたことに気が付きました。考えてみれば学生時代、一年目の山口インカレを初めとして日光、富士、愛知、石川、秋田など様々な場所に行ってきました。もちろんオリエンが目的なのですが、その過程で観光名所などにも行きましたし、多くの旅行経験ができました。最近オリエンは OLT 杯やインカレぐらいしか参加していませんが、旅行としてももう少し復帰しようかと考えています。

今回で幹事長の仕事を終えることとなりました。手の至らぬところもありましたが2年間ありがとうございました。特に共に仕事をしてきた幹事のみなさん、ありがとうございました。これからも大会に参加するなどつばめ会や OLT のお手伝いをしていきたいと考えています。

これからもつばめ会をよろしく願いいたします。

会長の言葉

12期 浅野昭

まずはじめに、この2007年総会をもちまして、幹事長をはじめ主な役員が改選されます。岡部さんをはじめとする役員の方々、この2年間お疲れさまでした。

そして新幹事長になりました田中さん、今後ともよろしく願いたします。

さて、先日、OLT杯に参加してきました。

運営報告はまた別に実行委員長のほうから報告があるでしょうから、わたしは一参加者の視点から書いてみます。

まずは最近のOL界の現況から。

日本のOL界は2005年の世界選手権運営でパワーをはき出してしまったのか、最近はやや落ち着き気味に見えます。特に学生運営の大会・練習会は量・質ともにわずかずつですが、パワーを失っているように思えてなりません。(たとえば来年より早大大会は開催されないようです)そんな環境の中で、OLT杯はきちんと開催され続けていることに、まずはうれしく思っていました。

わたしは今年、12年ぶりに関東に戻ってきたこともあり、久しぶりのOLT杯参加になりました。当日の天候はあいにくの雨。ふつうでしたら、いやになってしまうところですが、会場の熱気(この日は中高生の外部参加者が多かった)に押され、走る気を取り戻すことができました。

競技上の問題についてはわたしは語る立場にはありません(久しぶりに南北逆正置をしてしまった.....orz)が、ウィニングタイムは要項記載とほぼ一致していましたし、コース難易度や救護所の体制なども妥当なものだったと思います。

表彰式は簡単なものでしたが、新人クラスにはつばめ会が提供した賞品(ラップ機能付き時計)を差し上げるなど、ポイントを押さえたものになっていました。

OLT杯が来年以降も継続的に開催できるよう、現役、若手OBの方々よろしく願いたします。そしてつばめ会はそれを後押しできるよう、活動を進めていきます。

これからもつばめ会の活動にご支援、ご参加のほどよろしく願いたします。

部長の言葉

28期 近藤友洋

初秋のころ皆様いかがお過ごしでしょうか。部長として2度目の部長の言葉を書かせていただきます。今回の原稿では現在のO L Tの様子を学年別で紹介していきたいと思ひます。

まず1年生、大台の30期ですね。この学年での特記事項はやはり女子部員が入ったことでしょうか、たった一人とはいえ来年以降も女子部員が入ってくる可能性ができたということで大きな一歩と感ぢられます。また春先に上級生がロングセレに行っている間に、自分たちだけで練習会をやると言つて来たのには驚きました。人数も多く前途有望に感ぢられます。2年生は少し人数が少ないですが、その分結束は強いです。来年に向けての部長選がもうすぐ行われますが、このチームワークなら来年の運営もかなり安心して見られるのではないかと思われまふ。我々3年生は運営学年として半年やってきたわけですが、あまり頑張れていないというのが正直な思ひです。後半はもう少し気合を入れて部を引っ張ろうと思ひます。後、この学年は学業面も怪しくて、来年研究室所属が無理そうなやつがちらほらという状況です。4年生は研究室優先ではありますが、それでも部室にたくさん顔を見せてくれてとても助かっています。本当にありがたく、来年の自分たちもこうありたいものです。

そして11月にはインカレロングとミドルセレが行われます。それぞれの対策練も含めて毎週オリエンテーリングの一ヶ月となりますが、その先も含めて部員一同頑張つていきたいと思ひます。

コーチの言葉

26期 松井弘毅

つばめ会の皆様、こんにちは。部長、前部長の言葉に引き続き、今度はコーチの言葉を書くことになりました。今年度のコーチは26期の松井(ヘッドコーチ)、羽賀、友安の3人になります。また、特別顧問的な存在として25期の伊藤氏にもたびたびお手伝いをしてもらっています。今年度、コーチがすでに関わった大きな行事としては、ロングセレ対策練、ロングセレ、秋合宿、インカレロング対策合宿などがあります。合宿においては、20期の仁多見氏や24期の坪居氏を中心としてOBの方々に我々の未熟な運営を助けていただき、本当にありがとうございました。

さて、11月は毎週末オリエン行事が詰め込まれています。只今締切ギリギリでこの原稿を書いているわけですが、インカレロング対策合宿のために富士から帰ってきたばかりです。そしてつばめ会総会でこの原稿が皆様に読まれる頃にはインカレロングのために日光へ行っていることでしょう。さらに、その翌週にはミドルセレ対策練、そして最後の週にミドルセレ本番が待ち構えております。

今年のインカレロングでは27期の小山温史、村上巧、村上一輝が選手権クラスに出走することになっており、コーチとしても彼らの活躍を大いに期待しています。

さて、僕はOLTという組織に部員、部長、コーチとして関わって5年目ですが、やっぱり組織の中の人間関係って大切だなあ、と最近よく感じます。部長の立場だとか、コーチの立場だとか、運営能力があるとかないとか、OLTが組織としてうまく機能するために必要なものはいろいろあるかと思えます。でも、何よりも大事なのは、まずは組織のメンバー同士が仲良くしているということでしょう。組織といっても人の集団です。「責任」とか「立場」なんて理屈だけじゃ動かないこともあります。「楽しい」とか「おもしろそう」という感情が大切ですね。「同期のあいつや、あの先輩も合宿に参加するのなら、俺も楽しそうだから参加してみようかな」とか、「この先輩はおっちょこちょいで運営ミスばかりしているけど、おもしろいやつだからちょっと俺が助けてやるか」みたいな。やらなければならないっていう「理屈」だけでは辛かったり、どうにもならなかったりしても、「人」を通せばなんとかなるものってありますね。そうした方が関わっている本人も楽しいでしょうし。

今のOLTという組織は以前より人のつながりが薄れてきているんじゃないか、と心配するOBの声もよく聞きます。正直、そういう傾向も否定はできないかもしれませんが、僕は1年生や2年生など若い力には特に期待できるものがあると思っています。水曜練を盛り上げたり、飲み会をたくさん開いたりしてOLTを楽しんでほしいものです。

OLT 杯感想文

生命理工学部 4 年 27 期 村上巧

僕は、今度東工大 OLT 杯において、初の優勝を勝ち取ることができました。学生最後の OLT 杯においてこのような OLT の歴史に名がのこるような成果を出せたことには、素直に喜びを感じております。

しかし、実際のレースの内容には満足しているわけではなく、巡行の遅さ、1 レッグの大きなミス、雨天の対策不足などまだまだ自分に足りてない要素が浮き彫りになったレースでした。また、個人的に残念だったのが、小山以外の自分の実力を超える部員、または、ひょっとしたら自分を超えるのではないかと思わせるような同輩や後輩がいなかったことです。今まで、たくさんの実力を持った先輩方を追いかけるように、または張り合うようにオリエンテーリングに取り組んできた自分としては、張り合える部員がいらないことは非常に残念であったし、後輩たちには更なる実力向上を望んでいます。

前年度のインカレにおいて、個人戦、リレーともに良い結果を残すことができなかつたため、その悔しさから、それまで以上にトレーニングに励むようになりました。4 月に入り、研究室に所属してからもそれまで以上のトレーニング量を確保していました。昼間は研究室にこもって研究に励み、夜は 11 ~ 12 時頃からランニングをするという生活を送っていました。もちろん、寝不足の状態で行くこともしょっちゅうあり、また、体調を崩してしまうこともありました。しかし、インカレで輝かしい成績を残すためだと考えれば、それでも我慢してトレーニングに励むことができました。ですがやはり、月を過ぎるごとに研究のほうも忙しくなってきた、正直最近はつらいです。過去に OLT 部員でも、4 年になってオリエンテーリングの活動から遠ざかっていく方もいらっしゃいましたが、それでも 4 年で大きく力を伸ばして良い成果を残した先輩方がいらっしゃったことも事実であり、その方々に対しては本当に尊敬の気持ちでいっぱいです。今後もトレーニングに励み、すずかけ台キャンパスで研究を行っているため滅多に部室にはいきませんが、練習会や大会にできる限り積極的に参加して競技面で後輩たちを引っ張っていくことが今後の自分の今後の役割であると思います。

まだまだ自分には、数多くの課題がありますが、それをひとつひとつ解決し、競技面でより一層実力を身につけ、来年のインカレでは去年の雪辱をはらせるように頑張っていきたいと考えております。

最後になりましたが、今年度の OLT 杯を運営して下さった 26 期の方々、僕の OLT 杯優勝を祝福してくれた後輩、同輩、先輩がたに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

つばめ杯への軌跡

25期 村上諒一

去る9月30日に行われました第19回OLT杯におきまして栄誉あるつばめ杯を頂くことができました。今回は私がつばめ杯を取るまでの軌跡という形で書いてみたいと思います。

【2週間前】私は成田に立っていた。理由はメキシコという国に遊びに...いや社会勉強をしに行くためであった。そこから、10日間は色んなものと戦った。ユナイテッド航空、メキシコシティの治安、移民局、男三人でベッド二つの部屋、嘘つきガイド(ワリオ)。正直、帰ってきたときは相当疲れていた。

【1週間前】しかし、帰国の翌日には長野、伊那に行かなくてはいけなかった。研究室旅行だったためである。これも時差ぼけで発表しい宴会しいで死ぬかと思った。

【3日前】不思議なことにいきなり体調が良くなってきた。大学のジムに行ってキロ5で30分くらい走る。意外にいけそう。

【前日】運営陣にメールを送って参加表明する。その直後、雨が降り出す。萎えると同時に自分は雨男では無いと自分に言い聞かした。

【当日】朝、起きても雨が降り続けている。会場に着いてOB中心に話して時間をつぶす。スタートまでどしゃぶりの中を歩いているとオリエンがつらい競技だということ思い出した。

【レース】とりあえず、前半は慎重に行く。中盤は走れるところは走って上りは地図読みに集中する。この辺りで自分のレースが出来ていることを確認する。後半は集中力と体力が切れそうになるも簡単だったこともあり気合でまとめる。

ゴール後、会場に戻ってくると優勝していた。結果もそうだが自分の実力を出し切ってレースを作れたことに満足している自分がいた。現役時代の感覚が一瞬だけ戻ってきたような気がした。

最後に運営してくれた26期のみなさんありがとうございました。来年以降もOLT杯が現役、OBがいっぱい参加できる大会であり続けることを願いつつ文章を締めさせて頂きたいと思います。ありがとうございました。

OLT杯運営報告

26期 羽賀岳尋

2007年9月30日、第19回 OLT 杯が埼玉県横瀬町の「宇根峠」で行われました。大会当日は早朝から雨が降りあいにくのコンディションでしたが、けが人や大きなトラブルもなく無事終えることができました。参加人数は事前、当日を合わせて約120名の方に参加していただきました。例年より少し参加者が減少した形となってしまいました。ほかの大会での申し込み受付や宣伝の力不足が響いた形になったものと思われます。参加していただいた皆さんご参加誠にありがとうございました。

さて成績ですが以下に表彰対象者のみ簡単に記させていただきます。

OLT 杯クラス

1 村上 巧 0:57:16 2 小山 温史 0:59:24 3 久保山 裕己 1:08:26

新人クラス MF

1 藤井 通太 1:48:08 2 北原 昂 1:48:43 3 酒井 将宏 1:49:42

新人クラス WF

1 小早川 茉由 1:50:18

つばめ杯クラス

1 村上 諒一 0:51:15

OLT 杯クラスは終始安定したレースをした村上巧(4年)が優勝を勝ち取りました。一昨年、昨年の覇者小山(4年)は中盤のミスが響き2位にはいりませんでした。そして3位には二年生ながら粘り強いレースをした久保山が食い込みました。

新人クラスは全体としてウィニングを大きく下回る結果となりました。コンディションが悪かったことに加え、コースを少し難しく、タフにしたことが原因かなと思います。そんな中 MF クラスでは3位まで2分差内に納まっているなど接戦で、最後まで白熱したレースを見せてくれましたし、WF クラスも無事完走してくれました。

つばめ杯クラスは25期の村上諒一氏が初めて栄冠を勝ち取りました。

入賞しましたみなさんおめでとうございます。

今回の大会運営についてですが、おおよそ滞りなく進めることができましたが、最後の撤収の際、羊山公園にて運営者の荷物が何者かに盗まれてしまう事件が起きてしまいました。屋外での荷物管理は気をつけなければならないと改めて思い知らされました。

最後になりましたが、OBの方々には本大会運営に際してアドバイスをいただき、大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

近況報告

23 期 川井宏一

ご無沙汰しております。川井です。

近年はつばめ会の集まりには何度か顔を出させていただいておりますが、オリエンテーリングの競技に関しては修士 1 年の時に O L T 杯の運営、ミドルインカレ（日光）の実行委員を務めて以来、トリムに袖を通すことなく、オリエンテーリングからは離れた生活を送っており、皆さんとお会いする機会も少なくなっていました。

近況ですが、大学院を修了後、現在は会社の寮があるさいたま市に住んでいます。最寄り駅はさいたま新都心駅になります。さいたま新都心で有名なところといえば、やはり駅西側のさいたまスーパーアリーナでしょうか。スポーツイベントやコンサートがあるたびに駅は大混雑となるため、イベントの終了時と私の帰宅時間が重なったときは大きな人波に飲み込まれないように端のほうを必死な思いで通り抜けて帰宅しています。会社の寮は駅から自転車で 10 分弱のところであり、静かな住宅地の中に紛れ込んでいます。近くには浦和レッズの練習グラウンドがあります。私は残念ながらまだないですが、会社の人は近くの焼肉屋で長谷部や田中達也、鬨莉王を見たことがあるらしいです。

生活面では、平日は仕事を終えて帰ると後は寝るだけという生活で、自由な時間はあまり取れないのが現状です。

休日に行っていることといえば、例えば...、会社の研究所にある野球部に所属し、月に 1 ~ 2 度の頻度で汗を流しています。「野球部に所属」などというと大袈裟ですが、その部員のほとんどは野球経験がない者で、少年野球をしていた程度の私でさえ、それなりの戦力になってしまうほどです。なので、地区の大会にも出場していますが、なかなか勝利をあげられない状況です。少年野球になかった変化球はどうしても打つことができず、もっぱらストレート一本狙いです。それでもあまり打ってないのですが...

また、冒頭でオリエンテーリングから離れてしまっていると書きましたが、まったく山に入っていないのかということもそういうわけでもありません。会社の仲の良い人たちと山部を作りました。登山部と呼ばないのは、それほど難易度の高い山ではなく、ちょっとしたハイキング程度のレベルだから。これまでには、高尾山（なぜか 2 回）、高水三山、筑波山、三頭山、斑尾高原（野尻湖）などに行ってきました。たまにハイキングコースから外れて A 藪を走り抜きたい衝動に駆られますが、それは何とか抑えています。

久しぶりにオリエンテーリングしてみようかな。でも体力的に厳しいな。なんてことを考えて、結局やらすじまいの今日この頃です。来年は久しぶりに O L T 杯に顔を出そうかな...。ではそのときはよろしくお祈いします。

近況と大会の宣伝を少し

10期 永瀬真一

10期の永瀬です。大阪在住のため、皆さんとお会いできる機会がなかなかありません。大学院修了後、14年以上経過しましたが、いまだオリエンテーリングを継続中です。大学院終了時点では、35A(35歳)になるまでは、21Aを走ればと考えていましたが、29歳で挫折し、21ASに移ってしまいました。現在は、35Aで頑張っていて、来年度は、40Aを走れる年齢になってしまいます。現状の活動状況のポイントを競技と運営面で簡単に紹介します。

1. 競技

大きく二つあり、一つ目は、クラブカップリレーへの参加です。第5回はつばめ会で走ったのを契機に、翌年からは、所属クラブKOLA(<http://www63.tok2.com/home2/kola/>)でチームを組んで走っています。小さなクラブで会員12名という厳しい状況ですが、例年、正規チームでリスタートなし完走を目標に頑張っています。(今年は、3年振りのリスタートなし完走を達成。)私は、このところ6走を走っていますが、いざとなれば7走になっても困らないよう精進しています。

二つめは、全日本リレーへの参加です。2年前から、参加するようになって、大阪府MS第3チームになんとかすべりこんでいます。クラブカップと違い、選考されるという個人目標があり、さらに、他のクラブのメンバーからの刺激を受け、競技面でのレベル維持(できれば向上)の良いモチベーションとなっています。第3チームといっても、今年は大阪第2チームにもなぜか勝ち、全体の中でもそれなりに上位(25%ぐらいの位置)です。

2. 運営

KOLA主催大会は3回/年という高頻度で大会を開催しています。(+大阪府協会主催大会などお手伝いが2回/年)主催大会では、少人数でも無理のなく、運営者自身も楽しめるようどうメリハリをつけるかを考えるプロセスが楽しかったりします。現在は、関西恒例1月3日の新春大会の準備中です。(コース設定は私です。)さらに、2008年3月全日本大会(大阪開催)ではフィニッシュのチーフになっていて、こちらも準備中です。

というわけで、最後は宣伝で締めさせていただきます。

その1：2008年1月3日、大阪府浜寺公園(堺市、高石市)にて
第23回KOLA新春オリエンテーリング大会を開催します。

詳細はこちらです。よろしければご参加下さい。

<http://www63.tok2.com/home2/kola/gyouji/shinshun/2008/youkou2008.htm>

その2：2008年3月30日、大阪府箕面市で
第34回全日本オリエンテーリング大会を開催します。
詳細はこちらです。よろしければご参加下さい。

<http://www.orienteering.or.jp/joc/2007/>

近況

14期 平松 宗太郎

引っ越しました。探さないでください。

もとい、寮定年で追い出されたんで引っ越しました。
いろんな家電を買ってきたり、のんびり整理したりで
1ヶ月以上も片付いてません。いつになったら終わるのだろうか・・・
あ、家電はS社のです。幹事長、おごってください。

珍しい近況はこのくらいです。
あとは、あまり変わらずのんびり暮らしております。

2007 年度つばめ会活動報告

| 年月日 | イベント・活動名 | 摘要 |
|---------|----------------------|-----------------------------------|
| 2006.11 | 第 10 回つばめ会総会 | |
| 2006.11 | つばめ会会報 Slope(20 号)発行 | |
| 2006.11 | ミドルセレ | サプリメント差し入れ |
| 2006.12 | OLT 冬合宿 | OB がコーチとして参加 |
| 2007.2 | OLT 直前合宿 | OB がコーチとして参加 |
| 2007.3 | インカレミドル・リレー | サプリメント差し入れ プログラムに広告掲載 |
| 2007.4 | 京葉 OL クラブ大会 | 奥田健史(16 期):実行委員長 |
| 2007.4 | 事務局長交代 | 北村伸介(25 期)より友安充宜(26 期)へ交代 |
| 2007.4 | M1 説明会開催 | |
| 2007.5 | つばめ会会報 Slope(21 号)発行 | |
| 2007.5 | 全日本トレイル選手権 | 田中淳一:2 位 |
| 2007.6 | 全日本選手権 | 松澤俊行(元コーチ):4 位 円井基史(19 期):10 位 |
| 2007.6 | ロングセレ | サプリメント差し入れ |
| 2007.7 | つばめ会名簿配信 | |
| 2007.9 | OLT 秋合宿 | OB がコーチとして参加 |
| 2007.9 | OLT 杯 | 新人杯賞品提供 OB 多数参加 |
| 2007.11 | OLT ロング直前合宿 | OB がコーチとして参加 |

一部、有志による活動を含んでいます。

また、有志の活動は、全てを網羅できていないと思われます。

| 平成 19 年度つばめ会会計報告書 | | |
|------------------------------|-------------------|---|
| 1. 収入の部 | | |
| | (円) | |
| 会費(学生) | 19500 | 1 |
| 会費(社会人) | 57000 | 2 |
| 利息 | 264 | |
| 小計 | 76764 | |
| 2. 支出の部 | | |
| | (円) | |
| ミドルセレ差し入れ | 2480 | |
| インカレミドル広告代(1 ページ) | 30110 | |
| ロングセレ差し入れ | 3190 | |
| 祝電(倉澤様[20 期]と松澤様[21 期]へのお祝い) | 3832 | |
| OLT 杯 MF クラス賞品補助(ラップ時計) | 5140 | |
| OLT 杯 WF クラス賞品補助(ラップ時計) | 5140 | |
| インカレロング広告代(1/4 ページ) | 12080 | |
| 総会案内費 | 10231 | |
| 小計 | 72203 | |
| 3. 繰越の部 | | |
| | (円) | |
| 昨年度からの繰越 | 214597 | |
| 収入 - 支出 | 4561 | |
| 来年度への繰越 | 219158 | |
| 以上、報告いたします。 | 平成 19 年 11 月 10 日 | |
| | つばめ会 会計 | |
| | 田中淳一 | |
| 1:1500 円×13 人分 | | |
| 2:3000 円×19 人分 | | |

ML・ホームページ・掲示板について

つばめ会会員間の連絡手段の1つとしてつばめ会ML(メーリングリスト)を立ち上げています。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告など、お気軽に使ってください。メールアドレスはtsubame@egroups.co.jpです。ご不明な点がございましたら、管理者の井ノ川智史(tsubame-owner@egroups.co.jp)までご連絡ください。このMLに関するホームページ(登録メンバーのみ)にて過去ログなどを閲覧することもできます。

<http://www.egroups.co.jp/list/tsubame> にもぜひアクセスしてください。

つばめ会のホームページが稼動中です。ぜひご覧ください。

つばめ会のホームページ(管理人:坪居大介(24期))

<http://www.geocities.co.jp/Athlete/4476/>

東工大OLTのホームページ(管理人:島田裕司(28期))

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Labo/3247/>

スパム対策として、メールアドレスは全て画像になっています。ご了承ください。

編集後記

今回のSlopeはつばめ会総会が初お目見えということになりました。
まずは原稿を書ってくれた皆様どうもありがとうございました。
今回のつばめ会総会で改選ですので、僕が作るSlopeも今回で最後ということになります。

初っ端から私事になりますが、そろそろ僕は社会人になって半年になります。
おかげで、会社の都合で最近オリエンがほとんどできていなくて、だいぶ参加回数が減ってしまいました。社会人になってから参加した大会といえば、まだ東大大会とOLTの合宿(秋合宿・ロング直前合宿)だけです。OLT杯は同期の旅行の関係で行けませんでしたし。まあ、これからは参加できる回数がきっと増えることでしょう。多分。

さて、僕は今群馬に住んでいますが、住んでいて気づいたことをいくつか。

- ・ 散々「田舎だよな」と言われていたのに、意外と不便さを感じない
多分オリエンテーリングでド田舎には慣れすぎてしまったのでしょうか…。
- ・ 夏は雷がひどすぎる
ずっと夜の空が明るいななんてことがあるんですね。その日は田んぼの中の道を歩けませんでした…。
- ・ 冬は風がえぐすぎる(予定)
吹き下ろしが本当にひどいらしい…。

まあ、きっと何処にいたって住めば都って事なんでしょう。多分。

で、今回のつばめ会総会で、次期広報が北村伸介君(25期)に決まっているはずですが、僕が広報をやっているいろいろと反省点はあるのですが、北村伸介君ならきっとその押しの強さで原稿がいっぱい出ることでしょう。というわけで、伸介君、次の2年間頑張ってね。

| |
|--|
| 東京工業大学オリエンテーリング部OB/OG 会「つばめ会」会報 Slope 22号 発行責任者 岡部 健志 編集責任者 坪居 大介 (t_daisk@yahoo.co.jp) |
|--|

発行年月日:2007/11/10